

薬価基準追補収載(新薬)のお知らせ(概要)

令和5年3月14日
公益社団法人 福岡県薬剤師会薬事情報センター

厚労省は新薬の薬価基準追補収載を令和5年3月14日に告示しました。3月15日から適用です。詳細はpmdaのホームページの各添付文書をご覧ください。

(URL:<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>)

[内 用 薬]

劇：劇薬、処：処方箋医薬品、生：生物由来製品

分類	医薬品名(会社名)	識別コード	規格・単位	薬価(円)	規制
617	クレセンバカプセル 100mg (旭化成ファーマ)	白色/濃い黄赤色 C100	100mg1C (イサブコナゾールとして)	4,505.70	劇 処
概要	<p>(有効成分)イサブコナゾニウム硫酸塩 深在性真菌症治療薬。</p> <p>(効能・効果)下記の真菌症の治療。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アスペルギルス症(侵襲性アスペルギルス症、慢性進行性肺アスペルギルス症、単純性肺アスペルギローマ) ・ ムーコル症 ・ クリプトコックス症(肺クリプトコックス症、播種性クリプトコックス症(クリプトコックス脳髄膜炎を含む)) <p>(用法・用量)成人は、1回200mgを約8時間おきに6回投与。6回目投与の12～24時間経過後、1回200mgを1日1回投与。</p> <p>(禁忌)リトナビル、コピシスタット含有製剤、イトラコナゾール、ボリコナゾール、クラリスロマイシン、リファンピシン、リファブチン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、セイヨウオトギリソウ(St.John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品、フェニトイン、ホスフェニトインナトリウム水和物、ロミタピドメシル酸塩を投与中の患者。</p> <p>(作用機序) イサブコナゾニウム硫酸塩の活性代謝物であるイサブコナゾールは、チトクロームP450依存性ラノステロール-14α-脱メチル化酵素の阻害を介し、真菌細胞膜の構成成分であるエルゴステロールの生合成を阻害することで抗真菌作用を示す。</p>				
	625	ゾコーバ錠 125mg (塩野義)	白色～淡黄白色 ①711/125	125mg1T (エンシトレルビルとして)	7,407.40
概要	<p>(有効成分)エンシトレルビル フマル酸 抗ウイルス薬。プロテアーゼ阻害薬。</p> <p>(効能・効果)SARS-CoV-2による感染症。</p> <p>(用法・用量)12歳以上の小児及び成人は、1日目は375mgを、2日目から5日目は125mgを1日1回投与。</p> <p>(禁忌)ピモジド、キニジン硫酸塩水和物、ペプリジル塩酸塩水和物、チカグレロル、エプレレノン、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、エルゴメトリンマレイン酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、シンバスタチン、トリアゾラム、アナモレリン塩酸塩、イバブラジン塩酸塩、ベネトクラクス[再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)の用量漸増期]、イブルチニブ、プロナンセリン、ルラシドン塩酸塩、アゼルニジピン、アゼルニジピン・オルメサルタン メドキシミル、スポレキサント、タダラフィル(アドシルカ)、バルデナフィル塩酸塩水和物、ロミタピドメシル酸塩、リファブチン、フィネレノン、リバーロキサバン、リオシグアト、アパルタミド、カルバマゼピン、エンザルタミド、ミトタン、フェニトイン、ホスフェニトインナトリウム水和物、リファンピシン、セイヨウオトギリソウ(St.John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品を投与中の患者、腎・肝機能障害の患者で、コルヒチンを投与中の患者、妊婦又は妊娠している可能性のある女性。</p> <p>(作用機序) エンシトレルビルはSARS-CoV-2 3CLプロテアーゼを阻害し、ポリタンパク質の切断を阻止することで、ウイルスの複製を抑制する。</p> <p>※令和4年11月22日に緊急承認(薬価基準未収載)されたもの。新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけの変更を見据え、ゾコーバ対応医療機関、対応薬局の選定の目安数を引き上げられた。これにより、これまで経験のない医療機関や薬局が処方・調剤を行うことが想定されることから、妊婦又は妊娠している可能性のある女性への使用に関し、患者への適切な説明などについて改めての周知がなされた。また、一般流通が開始されるまでは、引き続き国が購入した本剤が配分される。</p> <p>令和5年3月3日、3月8日 厚生労働省医薬・生活衛生局総務課事務連絡。</p>				

分類	医薬品名(会社名)	識別コード	規格・単位	薬価(円)	規制								
399	タバリス錠 100mg " 150mg (キッセイ)	薄い黄赤色フィルムコート錠 100mg:R100 150mg:R150	100mg1T 150mg1T (ホスタマチニブとして)	4,188.00 6,226.80	劇 処								
概要	<p>(有効成分)ホスタマチニブナトリウム水和物 脾臓チロシンキナーゼ阻害薬。 (効能・効果)慢性特発性血小板減少性紫斑病。 (用法・用量)成人は、初回投与量100mgを1日2回投与。初回投与量を4週間以上投与しても目標とする血小板数の増加が認められず、安全性に問題がない場合は150mgを1日2回に増量。血小板数、症状に応じて適宜増減するが、最高投与量は1回150mgを1日2回。 (禁忌)妊婦又は妊娠している可能性のある女性。 (薬剤調製時の注意)PTPシートから取り出し一包化調剤することは避ける。 (取り扱い上の注意)本剤は吸湿により溶出性に影響を及ぼすことがあるため、アルミピロー開封後はPTPシートの状態で保存する。 (作用機序) 本剤は生体内で活性本体であるR406に代謝される。R406は脾臓チロシンキナーゼを阻害することでマクロファージに発現するFcγ受容体を介したシグナル伝達を抑制し、抗血小板自己抗体が結合した血小板のマクロファージによる貪食及び破壊を軽減する。また、B細胞に発現するB細胞受容体を介したシグナル伝達を抑制することで、B細胞の抗血小板抗体産生を抑制する可能性がある。</p>												
	分類	医薬品名(会社名)	識別コード	規格・単位	薬価(円)	規制							
625	パキロビッドパック 600 " 300 (ファイザー)	フィルムコート錠 ニルマトレルビル:淡赤色 PFE/3CL リトナビル:白色～微黄白色 \square NK	1シート 1シート	19,805.50 12,538.60	劇 処								
概要	<p>(有効成分)ニルマトレルビル・リトナビル 抗ウイルス薬。プロテアーゼ阻害薬。 1シート(1日分)中の含量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>有効成分</th> <th>ニルマトレルビル150mg</th> <th>リトナビル100mg</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パキロビッドパック600</td> <td>4T</td> <td rowspan="2">2T</td> </tr> <tr> <td>パキロビッドパック300</td> <td>2T</td> </tr> </tbody> </table> <p>(効能・効果)SARS-CoV-2による感染症。 (用法・用量)成人及び12歳以上かつ体重40kg以上の小児は、ニルマトレルビルとして1回300mg及びリトナビルとして1回100mgを同時に1日2回、5日間投与。 (禁忌)アンピロキシカム、ピロキシカム、エレトリブタン臭化水素酸塩、アゼルニジピン、オルメサルタン メドキシミル・アゼルニジピン、エプレレノン、アミオダロン塩酸塩、ペプリジル塩酸塩水和物、フレカイニド酢酸塩、プロパフェノン塩酸塩、キニジン硫酸塩水和物、リバーロキサバン、チカグレロル、リファブチン、プロナンセリン、ルラシドン塩酸塩、ピモジド、スボレキサント、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、エルゴメトリンマレイン酸塩、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩、フィネレノン、イバブラジン塩酸塩、シルデナフィルクエン酸塩(レバチオ)、タダラフィル(アドシルカ)、バルデナフィル塩酸塩水和物、ロミタピドメシル酸塩、ベネトクラクス(再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)の用量漸増期)、ジアゼパム、クロラゼパ酸二カリウム、エスタゾラム、フルラゼパム塩酸塩、トリアゾラム、ミダゾラム、リオシグアト、ポリコナゾール、アパルタミド、カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、ホスフェニトインナトリウム水和物、リファンピシン、セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品を投与中の患者、腎・肝機能障害の患者で、コルヒチンを投与中の患者。 (作用機序) ニルマトレルビルはSARS-CoV-2のメインプロテアーゼ(Mpro:3CLプロテアーゼ又はnsp5とも呼ばれる)を阻害し(IC₅₀=19.2nmol/L)、ポリタンパク質の切断を阻止することで、ウイルス複製を抑制する。 リトナビルは検討した最高濃度(3μmol/L)までSARS-CoV-2に対して抗ウイルス活性を示さなかった。リトナビルはニルマトレルビルのCYP3Aによる代謝を阻害し、血漿中濃度を増加させる。 ※パキロビッドパック600は、令和4年2月10日に特例承認(薬価基準未収載)されたもの。新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけの変更を見据え、パキロビッドパック対応医療機関、対応薬局の選定の目安数を引き上げられた。また、一般流通が開始されるまでは、引き続き国が購入した本剤が配分される。 令和5年3月3日、3月8日 厚生労働省医薬・生活衛生局総務課事務連絡。</p>					有効成分	ニルマトレルビル150mg	リトナビル100mg	パキロビッドパック600	4T	2T	パキロビッドパック300	2T
	有効成分	ニルマトレルビル150mg	リトナビル100mg										
パキロビッドパック600	4T	2T											
パキロビッドパック300	2T												
分類	医薬品名(会社名)	規格・単位	薬価(円)	規制									
119	ラジカット内用懸濁液 2.1% (田辺三菱)	2.1%1mL	2,751.90	処									
概要	<p>(有効成分)エダラボン フリーラジカルスカベンジャー。 (効能・効果)筋萎縮性側索硬化症(ALS)における機能障害の進行抑制。</p>												

	<p>(用法・用量)成人に1回5mLを空腹時に1日1回投与。本剤投与期と休薬期を組み合わせた28日間を1クールとし、これを繰り返す。第1クールは14日間連日投与後、14日間休薬。第2クール以降は14日間のうち10日間投与後、14日間休薬。</p> <p>(禁忌)重篤な腎機能障害の患者。</p> <p>(薬剤交付時の注意) ボトル開封前は冷蔵(2~8℃)保存し、開封後は密栓し室温保存。ボトル開封後15日以内に使用する。</p> <p>(作用機序) ALSの発症及び病勢進展は原因不明であるが、フリーラジカルによる酸化ストレスが関与している可能性が示唆されている。本剤は、フリーラジカルを消去し、運動神経細胞等の酸化的傷害を抑制することで病勢進展の遅延を示す。 ※新剤形。既発売品は点滴静注で、脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善の適応も有する。</p>
--	---

〔外用薬〕

分類	医薬品名(会社名)	規格・単位	薬価(円)	規制
119	アリドネパッチ 27.5mg // 55mg (帝国~興和)	27.5mg1枚 55mg1枚	289.80 441.40	劇 処
概要	<p>(有効成分)ドネペジル アルツハイマー型認知症治療薬。</p> <p>(効能・効果)アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制。</p> <p>(用法・用量)軽度~中等度のアルツハイマー型認知症患者は、1日1回27.5mgを貼付。高度のアルツハイマー型認知症患者は、27.5mgで4週間以上経過後、55mgに増量する。症状により1日1回27.5mgに減量可能。背部、上腕部、胸部のいずれかの正常で健康な皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。</p> <p>(作用機序) アルツハイマー型認知症では、脳内コリン作動性神経系の顕著な障害が認められている。ドネペジルは、アセチルコリン(ACh)を分解する酵素であるアセチルコリンエステラーゼ(AChE)を可逆的に阻害することにより脳内ACh量を増加させ、脳内コリン作動性神経系を賦活する。 ※新剤形。既発売品は、細粒、錠、OD錠、ODフィルム、ドライシロップ、内服液、内服ゼリー。</p>			
分類	医薬品名(会社名)	規格・単位	薬価(円)	規制
219	トレプロスト吸入液 1.74mg (持田)	1.74mg2.9mL1管	18,914.20	劇 処
概要	<p>(有効成分)トレプロスチニル プロスタグランジンI₂誘導体。</p> <p>(効能・効果)肺動脈性肺高血圧症。</p> <p>(用法・用量)成人は、1日4回ネブライザ(TD-300/Jネブライザ)を用いて吸入。1回3吸入(トレプロスチニルとして18μg)から投与開始し、忍容性を確認しながら、7日以上の間隔で、1回3吸入ずつ、最大9吸入(トレプロスチニルとして54μg)まで漸増。3吸入の増量の忍容性に懸念がある場合は、増量幅を1又は2吸入でも可能。忍容性がない場合は減量し、1回最小量は1吸入とする。吸入間隔は約4時間あける。</p> <p>(薬剤交付時の注意)本剤の希釈又は他剤との混合は避ける。本剤が皮膚に付着したり、眼に入らないように気をつける。本剤を吸入する際には、十分に換気する。本剤を飲み込まない。アルミ袋を開封後、7日以内に使用する。未使用アンプルはアルミ袋に入れ、遮光保存する。</p> <p>(作用機序) プロスタサイクリンと同様に、トレプロスチニルは、血管拡張作用及び血小板凝集抑制作用により、肺動脈の収縮及び血栓形成を抑制し、肺動脈圧及び肺血管抵抗を低下させることで、肺動脈性肺高血圧症に対する有効性を示すと考えられる。 ※新剤形。既発売品は注射液。</p>			

〔注射薬〕

分類	医薬品名(会社名)	規格・単位	薬価(円)	規制
429	アーウィナーゼ筋注用 10000 (大原)	10,000U1瓶	172,931	劇 処
概要	<p>(有効成分)クリサンタスパーゼ L-アスパラギンアミド加水分解酵素。</p> <p>(効能・効果)急性白血病(慢性白血病の急性転化例を含む)、悪性リンパ腫。 ただし、L-アスパラギナーゼ製剤に過敏症を示した場合に限る。</p> <p>(用法・用量)他の抗悪性腫瘍剤と併用し、1日1回25,000U/m²(体表面積)を週3回、筋肉内投与。</p> <p>(禁忌)L-アスパラギナーゼ製剤による重篤な膵炎の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある女性。</p>			

	(作用機序) 本剤は、血中のL-アスパラギンをアスパラギン酸とアンモニアに分解し、L-アスパラギンを枯渇させることにより、増殖においてL-アスパラギンを必須とする急性リンパ性白血病(ALL)等の悪性腫瘍に対して増殖抑制作用を示すと考えられている。														
分類	医薬品名(会社名)	規格・単位	薬価(円)	規制											
449	アドラーザ皮下注 150mg シリンジ (レオ ファーマ)	150mg1mL1筒	29,295	劇 処 生											
概要	(有効成分)トラロキヌマブ(遺伝子組換え) ヒト抗ヒトIL-13モノクローナル抗体。 (効能・効果) 既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎。 (用法・用量) 成人は、初回に600mgを皮下投与し、その後は1回300mgを2週間隔で皮下投与。本剤による治療反応は、通常投与開始から16週までには得られる。16週までに治療反応が得られない場合は、投与中止を考慮する。 (作用機序) トラロキヌマブは、ヒトIgG4モノクローナル抗体で、2型サイトカインであるIL-13と結合し、IL-13とIL-13受容体の $\alpha 1$ 及び $\alpha 2$ サブユニットとの相互作用を阻害する。IL-13は、IL-13R $\alpha 1$ /IL-4R α 受容体複合体を介しシグナルを伝え、炎症反応を刺激し、そう痒発生に寄与し、正常皮膚のバリア機能に必要な蛋白の産生を阻害する。														
分類	医薬品名(会社名)	規格・単位	薬価(円)	規制											
429	イジウド点滴静注 25mg // 300mg (アストラゼネカ)	25mg1.25mL1瓶 300mg15mL1瓶	214,801 2,311,819	劇 処 生											
概要	(有効成分)トレメリムマブ(遺伝子組換え) 抗悪性腫瘍薬。ヒト型抗ヒトCTLA-4モノクローナル抗体。 (効能・効果) <イジウド点滴静注25mg> 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌、切除不能な肝細胞癌。 <イジウド点滴静注300mg> 切除不能な肝細胞癌。 (用法・用量) <table border="1" data-bbox="239 1025 1505 1413"> <thead> <tr> <th></th> <th>効能・効果</th> <th>用法・用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">イジウド点滴静注 25mg</td> <td>切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</td> <td>デュルバルマブ(遺伝子組換え)及び白金系抗悪性腫瘍剤を含む他の抗悪性腫瘍剤と併用し、成人は、1回75mgを3週間間隔で4回、60分間以上かけて点滴静注。その後、7週間の間隔を空けて、75mgを1回60分間以上かけて点滴静注。</td> </tr> <tr> <td>切除不能な肝細胞癌</td> <td>デュルバルマブ(遺伝子組換え)と併用し、成人は、300mgを60分間以上かけて単回点滴静注。体重30kg以下の場合の投与量は4mg/kg(体重)とする。</td> </tr> <tr> <td>イジウド点滴静注 300mg</td> <td>切除不能な肝細胞癌</td> <td>デュルバルマブ(遺伝子組換え)と併用し、成人は、300mgを60分間以上かけて単回点滴静注。体重30kg以下の場合の投与量は4mg/kg(体重)とする。</td> </tr> </tbody> </table> (作用機序) トレメリムマブは、ヒト細胞傷害性Tリンパ球抗原-4(CTLA-4)に対する抗体であり、CTLA-4とそのリガンドである抗原提示細胞上のB7.1(CD80)及びB7.2(CD86)分子との結合を阻害することにより、活性化T細胞における抑制的調節を遮断し、がん抗原特異的なT細胞の増殖、活性化及び細胞傷害活性の増強により腫瘍増殖を抑制すると考えられる。					効能・効果	用法・用量	イジウド点滴静注 25mg	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	デュルバルマブ(遺伝子組換え)及び白金系抗悪性腫瘍剤を含む他の抗悪性腫瘍剤と併用し、成人は、1回75mgを3週間間隔で4回、60分間以上かけて点滴静注。その後、7週間の間隔を空けて、75mgを1回60分間以上かけて点滴静注。	切除不能な肝細胞癌	デュルバルマブ(遺伝子組換え)と併用し、成人は、300mgを60分間以上かけて単回点滴静注。体重30kg以下の場合の投与量は4mg/kg(体重)とする。	イジウド点滴静注 300mg	切除不能な肝細胞癌	デュルバルマブ(遺伝子組換え)と併用し、成人は、300mgを60分間以上かけて単回点滴静注。体重30kg以下の場合の投与量は4mg/kg(体重)とする。
	効能・効果	用法・用量													
イジウド点滴静注 25mg	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	デュルバルマブ(遺伝子組換え)及び白金系抗悪性腫瘍剤を含む他の抗悪性腫瘍剤と併用し、成人は、1回75mgを3週間間隔で4回、60分間以上かけて点滴静注。その後、7週間の間隔を空けて、75mgを1回60分間以上かけて点滴静注。													
	切除不能な肝細胞癌	デュルバルマブ(遺伝子組換え)と併用し、成人は、300mgを60分間以上かけて単回点滴静注。体重30kg以下の場合の投与量は4mg/kg(体重)とする。													
イジウド点滴静注 300mg	切除不能な肝細胞癌	デュルバルマブ(遺伝子組換え)と併用し、成人は、300mgを60分間以上かけて単回点滴静注。体重30kg以下の場合の投与量は4mg/kg(体重)とする。													
分類	医薬品名(会社名)	規格・単位	薬価(円)	規制											
617	クレセンバ点滴静注用 200mg (旭化成ファーマ)	200mg1瓶 (イサブコナゾールとして)	27,924	劇 処											
概要	(有効成分)イサブコナゾニウム硫酸塩 (効能・効果) クレセンバカプセル100mgと同様。 下記の真菌症の治療。 ・ アスペルギルス症(侵襲性アスペルギルス症、慢性進行性肺アスペルギルス症、単純性肺アスペルギローマ) ・ ムーコル症 ・ クリプトコックス症(肺クリプトコックス症、播種性クリプトコックス症(クリプトコックス脳髄膜炎を含む)) (用法・用量) 成人は、1回200mgを約8時間おきに6回、1時間以上かけて点滴静注。6回目投与の12~24時間経過後、1回200mgを1日1回、1時間以上かけて点滴静注。 (禁忌) クレセンバカプセル100mg参照。 (作用機序) クレセンバカプセル100mg参照。														

分類	医薬品名(会社名)	規格・単位	薬価(円)	規制
249	マンジャロ皮下注 2.5mg アテオス // 5mg アテオス // 7.5mg アテオス // 10mg アテオス // 12.5mg アテオス // 15mg アテオス (日本イーライリリー～田辺三菱)	2.5mg0.5mL1キット 5mg0.5mL1キット 7.5mg0.5mL1キット 10mg0.5mL1キット 12.5mg0.5mL1キット 15mg0.5mL1キット	1,924 3,848 5,772 7,696 9,620 11,544	劇 処
概要	<p>(有効成分)チルゼパチド 持続性GIP/GLP-1受容体作動薬。</p> <p>(効能・効果)2型糖尿病。</p> <p>(用法・用量)成人は、週1回5mgを維持用量とし、皮下注射。週1回2.5mgから開始し、4週間投与後、週1回5mgに増量する。患者の状態に応じて適宜増減するが、週1回5mgで効果不十分な場合は、4週間以上の間隔で2.5mgずつ増量可能。最大用量は週1回15mgまで。</p> <p>本剤は、同一曜日に投与。投与を忘れた場合は、次回投与までの期間が3日間(72時間)以上であれば、気づいた時点で直ちに投与し、その後はあらかじめ定めた曜日に投与。次回投与までの期間が3日間(72時間)未満であれば投与せず、次のあらかじめ定めた曜日に投与。</p> <p>週1回投与の曜日を変更する必要がある場合は、前回投与から少なくとも3日間(72時間)以上間隔を空ける。胃腸障害等の発現により忍容性が得られない患者では減量又は漸増の延期を考慮する。</p> <p>用量依存的な体重減少が認められているため、血糖コントロールだけでなく、体重減少にも注意し、本剤の増量の必要性を慎重に判断する。</p> <p>(禁忌)糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1型糖尿病の患者。重症感染症、手術等の緊急の場合。</p> <p>(薬剤投与時の注意)皮下注射は、腹部、大腿部又は上腕部に行う。同じ部位の中で注射する場合、毎回注射する場所を変更する。静脈内及び筋肉内に投与しない。</p> <p>(取扱い上の注意)凍結を避け、2～8℃で遮光保存する。凍結した場合は、使用しない。室温で保存する場合は、30℃を超えない場所で外箱から出さずに保存し、21日以内に使用する。</p> <p>(作用機序) 本剤はGIP受容体及びGLP-1受容体のアゴニストであり、両受容体に結合して活性化することで、グルコース濃度依存的にインスリン分泌を促進させる。本剤はC20脂肪酸側鎖を含む39個のアミノ酸からなるペプチドであり、内因性アルブミンと結合して消失半減期が延長することにより作用が持続する。 ※固定注射針付きシリンジを注入器にセットしたコンビネーション製品。在宅自己注射可能。</p>			
分類	医薬品名(会社名)	規格・単位	薬価(円)	規制
322	モノヴァー静注 500mg // 1000mg (日本新薬)	500mg 5mL1瓶 1,000mg10mL1瓶 (デルイソマルトース第二鉄を鉄として)	6,189 12,377	処
概要	<p>(有効成分)デルイソマルトース第二鉄</p> <p>(効能・効果)鉄欠乏性貧血。経口鉄剤の投与が困難又は不適当な場合に限り使用する。</p> <p>(用法・用量)体重50kg以上の成人は、1回1000mgを上限として週1回点滴静注、又は1回500mgを上限として最大週2回緩徐に静注。体重50kg未満の成人は、1回20mg/kgを上限として週1回点滴静注、又は1回500mgを上限として最大週2回緩徐に静注。治療終了時までの総投与鉄量は、患者のヘモグロビン濃度及び体重に応じるが、2000mg(体重50kg未満の成人は1000mg)を上限とする。</p> <p>(禁忌)鉄欠乏状態にない患者。</p> <p>(作用機序) 本剤は鉄とデルイソマルトースの複合体であり、静脈内投与後は細網内皮系の細胞に取り込まれる。デルイソマルトースから分離した鉄はトランスフェリンと結合して骨髄へと運搬され、ヘモグロビン合成に利用される。</p>			
分類	医薬品名(会社名)	規格・単位	薬価(円)	規制
429	リプタヨ点滴静注 350mg (サノフィ)	350mg7mL1瓶	450,437	劇 処 生
概要	<p>(有効成分)セミプリマブ(遺伝子組換え)</p> <p>抗悪性腫瘍薬。ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体。</p> <p>(効能・効果)がん化学療法後に増悪した進行又は再発の子宮頸癌。</p> <p>(用法・用量)成人は、1回350mgを3週間間隔で30分間かけて点滴静注。</p> <p>(作用機序) セミプリマブは、ヒトPD-1に対する抗体であり、PD-1とそのリガンド(PD-L1及びPD-L2)との結合を阻害することにより、がん抗原特異的なT細胞の増殖、活性化及び腫瘍細胞に対する細胞傷害活性を亢進し、腫瘍増殖を抑制すると考えられる。</p>			